

(事業者向け) 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	34%			基準値は満たしているが、活発な児童が多いと危険だと感じることがある。利用する子供の人数が多かったらスペースが狭くなる。
	② 職員の配置数は適切であるか	89%	11%			スタッフの人数は多く手厚い。係を決めて業務内容を明確にしている。利用者の希望日を見ながら職員を配置するようしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	44%	56%			フロアはバリアフリーで段差はないが、和室や玄関は段差があるので完全とは言えない。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	89%	11%			毎月一回は必ず評価シート使って振り返りを行っている。(社員のみ)
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				意向があつた際には無理のない範囲で応じるよう努めている。
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	78%	22%			ホームページで公開をしている。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	65%	33%	22%		第三者ではなく社内で行っており、業務改善による会議は行っている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				社内研修は定期的に受けており内容もわかりやすく理解しやすい。全員が研修を受けることができないので交替で受けている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	89%	11%			アセスメントシートを使って評価を行っている。
	⑩ 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%				わかりやすい表になっているアセスメントを使って個々の発達状況の把握に役立てている。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	89%	11%			地域支援のみ定まっていない部分があり実行に移せていない。
	⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	89%	11%			毎月会議をして考えている。
	⑬ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				活動プログラムを行うスタッフが連続にならないようローテーションで回っている。
	⑭ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				個人ファイルに計画書をはさんでおり、記録を書く際にいつでも確認できるようにしている。
	⑮ 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	89%	11%			ST訓練や作業訓練、ワークや製作などは個別で行い、運動プログラムは集団で行うようにしている。ここに合った個別支援計画を先性している。

⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			その日の係が決まっている。朝の朝礼を行っている。
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	78%	11%	11%	勤務終了時間がそれぞれ違うのでその日の振り返りが難しい。 翌朝に朝礼で振り返りをしている。
⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89%	11%		計画書に合わせて独自の支援記録を作っており、わかりやすく端的に記録が取れるようにしている。
⑲	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリング、計画を半年に一回行っている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	100%			管理者および社員が参加している。
㉑	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	78%	22%		看護指示書の作成をお願いしており、必要に応じて連絡連絡を取るなどの手段を取っている。
㉒	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	89%	11%		保育所や幼稚園とのケース会を行ったり、長期休暇に先生が見学に来られている。
㉓	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、意向に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67%	22%	11%	児発しかないため小学校に進学するときに、進学先の学校と情報共有を行うことがある。(担会等)
㉔	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	11%	56%	33%	研修を受ける時間をなかなか取れない。
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいがない子供と活動する機会はあるか		33%	67%	今後そのような機会があればいいと感じている。
㉖	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%			こども部会に参加をしている。
㉗	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%		モニタリングや担会以外にお迎えの際に話をしたり、送迎担当のスタッフが相談等を持ち帰り、後日対応するようにしている。
㉘	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	44%	44%	11%	困りごとを聞き、対応の仕方や関わり方を保護者の方に寄り添いながら解決策を伝えている。
㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約の時にすべて伝えている。
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	89%	11%		5領域の意味をしっかりと把握し計画書の作成を行い同意を頂いている。
㉛	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			早急に行うよう心がけている。

保護者への説明責任等	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	44%	44%	参観日の時に保護者の方同士で交流する時間を設けることができればと感じている。
	㉓ 子供や保護者からの相談や申し入れ、苦情に対して、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談申し入れ、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			相談苦情窓口を設置し、対応を行っている。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	89%	11%		ふわりだよりを毎月発行している。
	㉕ 個人情報に充分注意しているか	100%			担任以外は情報の持ち出しを行っていない。
	㉖ 障害のある子供や保護者の意見の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%			伝え方を伝えたり、その子の気持ちを汲み取り意思疎通ができるよう心がけている。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11%	11%	78%	事業所の行事に地域住民を招待したことはない。(周りにふわりと同年代の子供も少ない。)
	㉘ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	89%	11%		年に二回ほどマニュアルの読み合わせを行っている。
非常時等の対応	㉙ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	100%			年に二回、地震や火事が起きたときの避難訓練を行っている。
	㉚ 事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの情報を確認しているか	89%	11%		予防接種の項目まで個別ファイルの情報を読み込んでおく必要がある。
	㉛ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			社内で委員会を設置し研修を行っている。
	㉜ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	78%	22%		内容についてしっかりと把握をしておきたい。
	㉝ 食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	89%	11%		エピペン投与の研修や座薬の入れ方を定期的に行っている。
	㉞ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットを作成し、朝礼で情報共有を行っている。